

夏休みバリアフリー教室2回目（8月22日）

駅の調査

9時30分～12時

報告 下川滝美

【モレラ岐阜駅】

この駅には駐車場がないために乗り合わせて移動をしました。
送迎も道路上となり、駐車スペースや停車スペースがなく
どのような方法があるかといろんな案がでました。
自転車置場は駐輪場の寸法をはかり大凡の
台数を計算しました。
きちんと停めれば30台ほどは止められそうです。
資料によると35台となっていました。

次にスロープと階段の計測です。

ゆるやかなスロープですが車いす体験をした
小学生は長くて疲れる！と言っていました。
長さ約 15mありました。

杖を体験した子は階段よりスロープが使いやすい
という感想。

手すりにつけられている点字シールの色が
薄くなり見えづらくなっていました。

これは簡単に改良ができそうです。

この駅は新しく、バリアフリー設備が整った駅です。

ホームにも他にはない設備がありました。

電光掲示板が「電車が来ます」と警報音とともに表示され、
わかりやすいという感想が多くありました。

駅のホームが狭いという感想がありました。

視覚的に長いホームなのでそう感じるのもありますが
待合ベンチの途中にあるゴミ箱が通路に飛び出していた
せいかもしれません。これも改善できそうな項目です。

「大垣方面」という表示がとてもわかりやすくて良いという感想
もありました。

待合所の入り口

スロープとなっており 3cmの
すりつけがしてありますが
車いす自走では苦戦しています。



【本巣駅】

案内看板が見つけられずに駅の位置がわかりづらいという感想が多くありました。

昭和31年に建築された駅だということです。

レトロさが魅力ですが老朽化もあり改善希望の箇所など色々と意見がでました。

多くの学生や高齢者が利用する駅です。

駅では常連利用客さんから話を聞いたりレールバスの発着もあったりして駅の様子も見る事ができました。

本社駅ということもあり駅員さんが常駐しているので駅として活気もあり温かみもあります。



駅の改札の幅は 60cm

車いすでは通過出来ませんが迂回路があります。

迂回路を通ればホームへも段差なしで行くことができます。

ホームへの移動はスロープとなっており路盤は老朽化で凹凸がありました。

一般の方が歩行するには差し支えありませんが杖の方、車いすの方には移動しづらいのではという意見がありました。



モレラ岐阜駅で最新設備を見てきたせいもあり点字ブロックや電光掲示板などバリアフリーとしての設備がないのが気になりましたが駅員さんが肉声で案内をしており、安心という意見もありました。

トイレは小便器2器と和便器2器 手洗い器あり

古いが利用者が多く改善が期待されます。

現在のトイレはペンキも塗り直されており以前よりきれいになっているという意見もあり社員の方に感謝です。

男性用と女性用 そしていろんなイベントも多いということや特別支援学校の生徒さんや高齢者の方の利用も多いということから身体の不自由な方も利用できるトイレがあるといいという意見が多くでした。

駅の調査の後はワークショップをしました。

本巣駅に期待する意見がたくさんでした。

